

ICボルドー 66D

ICボルドーでかんしょ基腐病を しっかり予防！！

- 優れた残効性
- 収穫前日数・散布回数の制限なし
- 薬害リスクが低い

有効成分：塩基性硫酸銅28.1%（銅として3.7%）
毒性：普通物

殺菌剤分類 M01

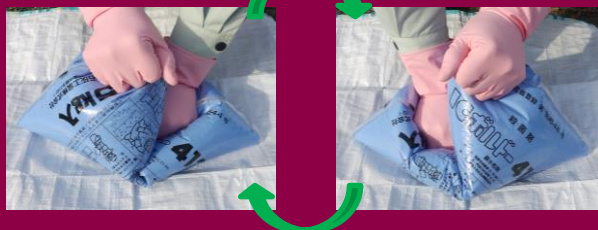
●適用病害と使用方法<かんしょのみ抜粋> ※2023年11月時点

※2023年10月に登録を取得しました

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	銅を含む農薬の総使用回数
かんしょ	基腐病	50倍	100~300L ／10a	—	—	散布	—

●ICボルドーは希釈する前によくもみほぐしてください

凹凸のない平らな所で、ICボルドー袋の端を持ち、袋の中心部にこぶしを押し込むようにしてよくもみほぐす。



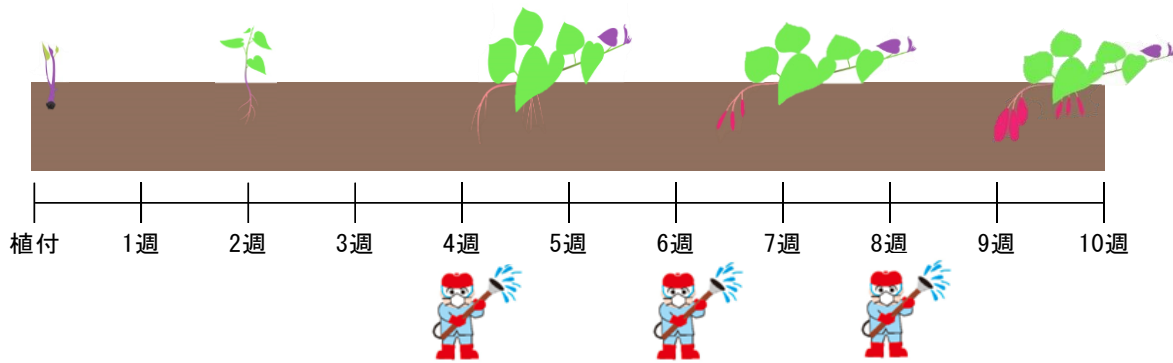
ICボルドー66D

● 散布適期

ICボルドー66D を散布

生育期間中

▶ 発生前から予防的に散布する



● かんしょ基腐病 委託試験成績

試験場所 鹿児島県農業開発総合センター

品種 コガネセンガン

発生程度 中発生

植付日 2022年5月20日

処理日
・ICボルドー66D 50倍 (200L/10a)
6月17日、6月30日、7月14日
(定植4、6、8週間目)の計3回
・対照剤A 2000倍 (200L/10a)
6月23日、7月7日、7月21日
(定植5、6、7週間目)の計3回

調査方法
初発前は定植後から約7日間隔。
初発確認後は8月2日(74日後)、
8月9日(81日後)、9月2日(105日
後)に、各区同一の30株に対して
調査を行った。

